

ともに励まん



北海道旭川永嶺高等学校 3 年次だより 第 12 号 (通巻 107 号)

2019, 6, 28 (金)

文月 ～はや今年も下半期

いよいよ来週には学校祭が迫った！ 土日の準備活動も、今週末は気合いが入ることでありましょう。

ことしは遠足も全校応援もできて良かったね！ 吹奏楽、応援団、野球部、みんなご苦労様でした！！そして、月日の経つのは早いもの（そういう落語の小話があります）。夏至も過ぎ、はや今年も下半期。7 月を迎えます。

旧暦 7 月の雅称「文月」は、「ふみづき」「ふづき」ともいいます。諸説あるようですが、七夕に書道の上達を願って短冊に願いをしたためたことに由来する「ふみひろげづき」が語源だというのが有力だそうです。かつてこの名に乗って、旧郵政省（いまの何省でしょう？）が「文を書こう」「手紙を出そう」という「ふみの日」キャンペーンを始めたのです。「文月」の 23 日を「ふみの日」とし、その記念切手も毎年発行されています。デジタルの時代ですが、たまには自筆の手紙を書いてみませんか？ さて、センター試験もあと 6 ヶ月ちょっとです。頑張らねば！

チャレンジ！ 四字熟語 [13]

★次の四字熟語の意味として適当なものをそれぞれ選び、番号で答えよ。

得点 _____ / 5 点

(111) 巧言令色 読み方 《 _____ 》

- ① たくみな言い回しで、自分の利益になるように人を操ること
- ② 策略を練ったり、人をだましたりして、自分の欲望を満たそうとすること
- ③ 世間話やうわさ話が好きで、世俗的なものを重視すること
- ④ 言葉たくみにお世辞を言い、表情をつくらって、人に取り入ること
- ⑤ 言葉づかいは丁寧だが、腹の中では人を見下し、小馬鹿にしていること

(112) 荒唐無稽 読み方 《 _____ 》

- ① 言動に根拠がなく、現実味のないこと。
- ② 即物的で、味わいやうるおいがないこと。
- ③ 信念がなく、こっけいで無駄なこと。
- ④ 説明不足で、十分に理解されないこと。
- ⑤ 内容が粗雑で、面白みのないこと。

(113) 虎視眈々 読み方 《 _____ 》

- ① 油断をしているようす
- ② おっとりとして構えているようす
- ③ じっと機会をねらっているさま
- ④ 生き生きとしているさま

(114) 枝葉末節 読み方 《 _____ 》

- ① 主要でない事柄
- ② 役に立たない事柄
- ③ ほそぼそと持続する事柄
- ④ 将来性をもった事柄
- ⑤ 自然に消えてゆく事柄

(115) 針小棒大 読み方 《 _____ 》

- ① 小さいものがだんだん成長すること
- ② 役に立たないこと
- ③ 小さくても威力が大変にあること
- ④ ちょうど良い組み合わせのこと
- ⑤ 物事を大げさに言うこと



晴天に恵まれて
2 年ぶりの全校応援

☆☆☆ 来週の行事と時間割 ☆☆☆

文月 7 月		行 事 等 ①②は校時を、(1) (2)は回数をあらわします	★時間割を確認しよう						
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
1	月	6 時間							
2	火	7 時間							
3	水	終日準備							
4	木	終日準備							
5	金	終日準備							
6	土	永嶺祭(1)							
7	日	永嶺祭(2)							

☆ケガなく、トラブルなく、先輩らしく、思い出に残る学祭を！

(文責 伊丸岡)

◆担任の先生とクラスの生徒がTシャツやら模擬店やらクラパビの相談をしている。担任の先生は大変だとは思うものの、やはり楽しそうだし正直うらやましい。力合わせて、よりよいものを作り上げてください。すべての企画、展示、発表等々、楽しみにしています！

来週は、全日準備に入り、学年だよりも配布しづらいと思われますので、休刊します。学祭明けの週の動きも頭に入れておこう。ポイントは「切り替え」！うまく切り替えて、進路実現の「求道者（ぐどうしゃ）」になれ！！

☆☆☆ 永嶺祭後の行事と時間割 ☆☆☆

文月 7月		行 事 等 ①②は校時を、(1)(2)は回数をあらわします		★時間割を確認しよう						
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
8	月	片付け・反省 こういう日に休まない！	5 時間							
9	火	振替休業								
10	水	振替休業 進研記述模試！全力で								
11	木		7 時間							
12	金		6 時間							
13	土	夏季休業前講習開始 公務員公開模試(4)								
14	日	休業前講習								

◆月日のたつのは

昔々、お月様とお日様と雷様が、三人連れ立って旅をいたしまして、ある宿へ泊まりました。翌朝、雷様が目をさましますと、お月様とお日様の姿が見えません。

雷様「おいおい、お女中や、わしの連れのお月様とお日様の姿が見えないんだが、どうかしたのか。」

女中「はい、お二人は、まだ朝暗いうちに、おたちになりました。」

雷様「ええ、まだ朝暗いうちにたった、ふーん、月日がたつのは早いなあ。」

女中「で、雷様はいつ頃おたちになりますか。」

雷様「うーん、わしは夕だちにしよう。」



◆ひとりはおみんなのために、なんてカッコいいこと言うつもりはありませんが・・・。

人間、生きてるだけでこの世に迷惑かけている、なんてことを時々思うんですね。別に特定の宗教とかそんなのではないのですけれど。だから、少しは他人様のためになるようなことをしなきゃいけないんじゃないかって（ホントに時たまですが）。で、前前任校と、前前任校の時は、よく綿ごみのたまりやすい階段や廊下の掃除を自主的にやっていました。前任校では校務補さんが、本校では毎朝吹奏楽の諸君が掃除をやってくれているので、出番はありませんでした。それで、最近ささやかな朝仕事を見つけました。ほんのささやかな事ですし、公言してしまえば価値がないので秘密ですが、誰かの役に立っていればいいな、と思う次第。

以前、この通信で、毎朝毎朝教室の掃除をしてくれた「ひとみ」さんの話を書いたように思います。無言で、無償で。神々しかったなあ。いまもきっとどこかで立派にやっているんだろうなあ。

みんなもそんな事を一つ続けてみるのはいかがかな？ ちょっとだけ「心に強い芯」ができるかもよ。朝早めに来て、窓を開けて教室の換気をする。帰りにさりげなく窓を閉め、カーテンをくくる。廊下の窓なんかもしさりげなくね。その時考える。いつもは誰かが閉めてくれているんだろうな、と。廊下や階段もいつも吹奏楽の早出の諸君がきれいにしてくれているんだな、と。せめてこういう「思いを馳せる」ということだけでも人の心を成長させる。想像力、人を思いやる心、心配りの精神だ。それが感謝の気持ちにもつながるし、人に優しくもなれる。

なお、ボクの場合、この世に対する罪滅ぼしの意味のほかに、実はストレス発散という「自分のため」の意味合いもある。「こんちくしょう」なんて思いながらね。決して世のため人のためばかりではないのだ。こういうところがまだまだ人間、未熟なんだなあ。みつを(?)

これから辛いづらい(?)受験生活を送るみなさん。何かこれだけはやり通すんだ、というものを持つといいと思うよ、実際。



◆細心の注意を

前にも書いた気がするが、ボクが高3のなつやすみに入ってもまもなくのこと。勉強の息抜きに自転車を分解掃除して、ちょっとボタリングでめしよと家を出てもまもなくのこと、小石をよけようとちょいと前輪を持ち上げた。と同時に、前輪だけシャットとすっ飛んでゆき、ボクのからだはゆっくりと宙返りをしてアスファルトにたたきつけられた。

そう、フロントフォークとハブをつなぐナットを締めを忘れていたため、ハンドルバーを持ち上げた瞬間、タイヤだけ前進していった訳だ。これによりボクの高3の夏は終わった・・・。完。 THE END. FIN.

学校祭準備で殺気立ってくる。朝は疲れて寝過ぎて遅刻ぎりぎり。そんなときに思わぬ事故を誘発するかも知れません。そんなことにならないように、あらゆる行動に細心の注意を払うよう心得ましょう！